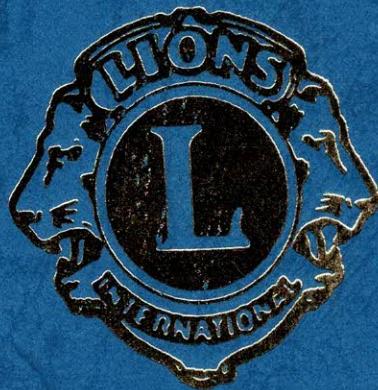


Lions

会報 1
1990.6



蒲郡マリンライオンズクラブ

334-A 地区 2R.2Z
祝 蒲郡マリンライオンズクラブ結成会
1989.2.28



— 蒲郡マリンライオンズクラブ結成会 —
1989.2.28

目 次

ライオンズの誓い

ご挨拶・ご祝辞

おめでとう一周年

アクティビティ

チャーターナイト

認証状伝達式

アクト（たこあげ）

" (文化講演会)

" (蒲郡まつり)

" (献血・献眼・献腎登録運動)

例会報告

夏季家族会

クリスマス家族会

地区行事

チャーターナイト行事

" " 一周年

逃がした名刀

役員名簿

チヤーターナイト行事

" " 一周年

逃がした名刀

新入会員挨拶

役員名簿

チヤーターナイト行事

" " 一周年

逃がした名刀

新入会員挨拶

役員名簿

出席表

故 大町一美氏を偲ぶ	36	34	31	29	27	26	25	20	19	17	16	15	14	13	12	11	10	9	5	1
出席表	45	44	43	35	33	30	28	27	26	25	20	19	17	16	15	14	13	12	11	10

L I O N S の誓い
Liberty, Intelligence, Our Nation's Safety
(自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる)

モ ツ ト 一
We Serve
(われわれは奉仕する)

1989～90年度 スローガン

- 蒲郡マリンL C ●
奉仕の心は 明日への飛躍
- 国際会長●
豊かさに 質と心を
- 334-A地区●
心のふれあい まことの奉仕
- 334複合地区●
奉仕には 汗と英智と情熱を



会長

鈴木 靖夫

蒲郡マリンLCも全会員の協力によりすばらしかった初年度も終わろうとしています。思えば昨年2月の結成式に続き5月のチャータナイト式典と設立の事業も全会員の相互理解と力強い結束により立派に成し遂げる事が出来ましたことは我がクラブの大きな誇りであり自信になりました。今更ながら友情の美しさ、尊さ、有り難さを痛感している次第です。

私も縁あって蒲郡マリンライオンズクラブの設立に関係し、この様なすばらしい数多くの友を得ました事を深く感謝しています。そして人生は出会いが大切であろうと思います。人と人との縁から運命が切り開かれて行く不思議さをつくづく思いしらされています。

ライオニズムの原点は「愛」であり「思いやり」であり「和の心」であります。最終的には人類の幸福、恒久的な平和であります。我々の「ウイサーブ」も地域社会に於ける奉仕も大切であり、重要でありますが狭い範囲ばかりでなく、国際社会に基づいたアクトの必要性が今、日本に於ては責任となって参りました。そしてその奉仕も奉仕を受ける側にそれをきっかけとして水面に波紋が広がって行く如く自からの向上心を奮い立たせるような心のアクトでなくてはならないと思います。

我がクラブの基本方針を「おみこし例会」でありたいと提唱して参りました。おみこしと言うクラブを一人一人が力を合わせ参加し、かつぎ上げ、その中より相互理解を深め友情と、信頼を得ながら楽しい雰囲気を作り出したかったのです。全会員の「和の心」での協力により「おみこし」は地上に落ちることなくかつがれ、来年度に引き継がれて参ります。喜び感謝するのみです。又アクトでは市民を巻き込んでの市民講演会、身障者へのアプローチとしての眺海園、つつじ寮への参加があり国際的にはオイスカへの援助、市内国際交流協会設立への一石、中学生訪台への協力、青少年問題ではチビッ子たこ上げ大会と、巾広く時代に適したアクトが出来ました。奉仕こそ我々の喜びとして明日の扉を開き、これからチャレンジに立ち向かいながら「ウイサーブ」の精神に満ちたよりよい明日のために頑張れたものと満足しています。そして眞の人間愛こそライオニズムが存るのだと言う確信を改めて深く感じた1年4ヶ月でもあったと思います。会員諸君の御協力に心より感謝申し上げると共にマリンLCが益々発展し会員の皆様方がいつまでも御健康でありますようお祈り申し上げます。

幹事として一年を振り返って

一昨年、幹事を引き受けて間もなくのことエクステンションという問題が起った。

これについて、賛否両論があったが、結局やる事に決定した。しかし今度は方法論で異論百出という具合だった。

一つの事が解決されると、また新たな問題が出る。この2年間は、あつという間に過ぎ去り、まさに「光陰矢の如し」を地で行ったような気がする。

振り返ってみると、少々苦労はあったものの、新たな経験、生き甲斐の再発見もあった。失ったものより得たものの方が遥かに多かったと実感している。

「恋愛は美しい誤解であり、結婚は悲しい理解である」という言葉がある。お互いに見えないところがあるから、恋愛は成立するのであり、結婚は現実の生活において見えなかつたところが見えてきて、時にはやりきれない気持ちになる場合もある。

恋愛とか結婚とか、男女の特殊な付き合いばかりではなく、男同志の付き合いの中でも同じことが言えるであろう。

何か一つの事を団体で成し遂げる場合、人それぞれ主観、認識の相異があるのは無理もないことである。時には感情が差しされる。人間関係の複雑さ、難しさを改めて認識させられた。

しかし、色々な行事を遂行していく事によって、多くの人々との出会いがあり、そこから新しい友人関係が生まれた。

友人は男にとって、一生の心の財産であるその人脈が広がる事は、実に楽しく、また嬉しい事である。此の人脈を育てる事に努力を惜しんではいけないと思う。

このような貴重な体験を得られた事は、人生という長距離マラソンを走る上において、素晴らしい、そして尊い経験だったと思う。



幹 事
I 市 川 直

感謝と奉仕

蒲郡マリンLCの会長という重責を仰せつかり、肩の荷の重さに見合うだけの能力もない私ですが、LC理念に沿って、一生懸命、最大限の努力をしようと思っています。

当クラブは、結成二年目という若いクラブであり、会員相互の和を固めることが、第一と考え、まず、例会を本音で話し合える、肩の凝らない、楽しみにしてもらえる会にするよう心がけたいと思います。

そのために、委員長の方々にも、理事会に出席していただく機会を多くもち、理事との交流、意見交換、優れたアイデアの提言等、積極的に活動してもらえるようにしたいと考えています。そして、地域密着型のアクトが多い中、今後の世界、社会変化を考えると、国際的なアクトも必要とされる時代になるように思われます。

ライオンズの目的は、奉仕です。しかし、家庭や職場を犠牲にしての奉仕は成り立ちません。私は、奉仕とは、幸せに対する感謝、恩返しであると考えています。メカニックな現代では、とかく感謝する言葉や心が薄らいでいるように思います。身に受けた喜びを素直に感謝しつつ、自らもまた喜びをお返しする気持ちを表わしたいと思います。

どうか、メンバーの方々にあっても、現在の平和な社会、豊かな生活に感謝、恩返しを行動で示めすこと、これが奉仕であるとご理解いただき、ライオンズへのますますのご協力、ご支援を心からお願い致します。



第一副会長

鈴木 敏允



L 木村利男

次期幹事として

5月28日午後1時40分頃名古屋行きの電車の中で私は誠に恥ずかしながら久かたぶりでライオンズ必携なる小さな本を開いてみた。実は当日は次期三役のゼミナーの日なのであった。正直に申して入会した頃に一二度必携を読んだと言うより目を通した事はあつたがやたらと専門語が多くて何かピンと来なくなつてその内に何とか覚えられるとゆう安易な考えで本日に至ってしまったわけである。そして今恐る恐る久しぶりに開いてみると以外と分かりやすく自分も知らず知らずのうちにライオンズマンになったかという様な気持

ちにはなってきました。ところが幹事とはを読みはじめて驚いた事には幹事は必要ある場合理事會の決定する報酬を受けることが出来る更に驚いたことは、幹事は理事會の要求があればその職務遂行に対し保証金ないしこれに代わる担保を提出する2項である。どちらも理由は書いてないが私のライオンズ暦で考えても理解に苦しむルールであり幹事だけは別格扱いの様な気がした矢先ゼミナーでは更に幹事がいかに大変であるかを二時間に渡り頭にぶち込まれて、これは大変なことになつてしまつたわと今更後悔しきりである。しかしお受けした以上お断り出来ず開きなおった気持ちでややこしいことはさておき幹事とはの第5項の幹事は常に謙虚な気持ちで笑顔を忘れず会員相互の融和を図り、明るく楽しいクラブ運営と地域社会に対するライオニズムの高揚に精進すべきであるをモットーにメンバー皆様の絶大なる御協力御指導をお願いして我がマリンクラブのパイプ役としてこの一年間をつとめさせていただきます。



L 鋤柄 渡

会計として

「小才是、縁に出会いて気付かず。中才是、縁に気付いて活かさず。大才是、袖すり合った縁をも活かす。」一将軍家の剣道師範役、柳生家の家訓の一説を教わり、自分からすんで「袖」すり合せ、人と人とのふれあいの中で己れを知り、人間らしさを見出す「縁」を大事にしたいと思う。

ライオンズクラブの一員となって、新しい人を知り、また旧知の人とのより良い人間性

を知ることが出来、「豊かな人脈」を得ていることは、自分の「資産」とここに大事にするよう常に心掛けたい。

マリンライオンズ発足以来、クラブ会計として責務を全とうされていた、私にとっては旧知の間柄であった、L大町一美の突然の悲報により副会計であった、私に昇格を命ぜられその重任が、雑駁の私に務まるか不安を持ちながら………これも「縁」の内と思い、クラブ会員諸賢のご見識を賜り「袖」から「縁」と、今後ともよろしくお導きいただきたい。



エクステンション
ガイディングライオン L 酒井一利

おめでとう 一周年

きのう の ことより 今日
今 日 の ことより 明日
明 日 の ことより あさって
あさっての ことより 来月
来 月 の ことより 来年
来 年 の ことより 四年後

今の蒲郡マリンL Cより 次の蒲郡マリン
L C。

これが 基本です。
5周年を 期待します。

1周年、おめでとうございます。

GAMAGORI MARINE LIONS



蒲郡 L C 会長
L 原田 正夫

「ライオンズクラブがシカゴに誕生した、1917年は、米国が第一次世界大戦に参戦した年であり、またレーニンがモスクワにソビエト政府を樹立した年でもあります」と私はマリンクラブ結成会で挨拶しました。ライオンズクラブの創始者達の胸中に去來したものは何か?、と七十余年前に思いを馳せたからです。

二十世紀は激動の嵐で始まりました。米国はローリング20の時代へ入り、やがて世界経済恐慌となり、その結果第二次世界大戦に突入、終結後は東西対立の冷戦構造が続きました。その間にかつての大航海時代の落とし子である植民地に新たな息吹きが起り、次々と独立を果たしました。そし



チャーターナイト実行委員長
L 水藤 勇

チャーターナイト実行委員長を終えて

早いものでチャーターナイトはついこの間行ったような気がするのに、もう1年になり会報を発行する時がきた。

蒲郡クラブが新クラブのスポンサーをとの考えは、かなり前からあったのだが、なかなか踏みきれなく、いよいよとなった段階ではクラブを分けてでも新クラブをつくるなければという構想で発足したのだが、その経緯をみていると人数的にはまずまずだけれどクラブ外の人からはアンバランスに見えるだろうと考え締め切り間際ギリギリのところでマリンクラブへの移籍をきめた。

て基本的人権と自由が人類のテーゼとして確立します。

こうした流れの中でライオンズクラブの果たした役割は、けっして軽いものではありませんでした。自由と平和を旗じるしに、ウイサーブをモットーに始まったライオンズクラブの活躍は、早くも三年目に、カナダにも創設、国際社会としての第一歩を踏み出し、国境を越えてひろがりを見せ始めました。やがてその波は東欧の一角にまで及び、遂にベルリンの壁の崩壊に陰の力として大いに役割を果たしました。ライオンズクラブの各活動もLCIFも、その活躍は大いに評価に値しますが、エクテンションによる会員増強の持つ意味もまたきわめて深いものがあります。

その努力が、やがては世界の隅々にまで、ライオニズムの灯を点すことになりました。恒久平和への道につながるからです。ライオンズクラブとは何かと思う時、極論を言えば、奉仕活動はクラブの衰退を防ぐ手段であり、真の目的はライオニズムを地球の隅々まで浸透させ、世界の平和維持の一助とし、全人類の幸福を目指すものであると思います。今、エクステンションの持つ意義を私なりに再確認した思いがいたします。一周年おめでとう。

ところがすぐお前は蒲郡クラブでのチャーターナイトに既に在籍していたから委員長をやれということになった。チャーターナイトの日も決まっていることから、その内容、予算を始め各部会の役割分担およびメンバー等大略の枠組みが出来、既に準備もかなり進んでいたし、委員長としてすることもなく、各部会間の予算その他若干の調整の必要があった程度で新クラブとはいえ手際の良い準備が進んでいた。

只委員長の仕事としてリジョン内のブランザーラブの例会に蒲郡クラブがスポンサーした考え方と経過、マリンクラブ結成の状況を伝えながらチャーターナイトへの出席のお礼にPRに歩いたが予想を上回るご厚意の登録をいただき盛大に挙行出来、大変良かった。クラブの発足から祝宴部会長としてチャーターナイトの準備に奔走し成功に導いてくれたL大町一美を半年もたたない10月に失ってしまったことは残念でならない、L大町の為にも1周年を迎えたいま5周年10周年に向けて精進しなければいけないと考えている。

重荷を下ろして

古い歴史と伝統をもつ蒲郡L Cよりキビネットの会員エクステンション委員長に指名され、あるL Cメンバーから、新しいクラブをつくるのは良いが、その責任は重いぞと、云われ、その忠告に、躊躇なく新クラブへ移籍者として仲間入りして、二度目のチャーチメンバとして登録して居ただいた。今日迄クラブ活性化には、エクステンションが最良の策と、云いつづけた私としては、先日チャーターナイト一周年式典を終へ、何か重い荷を下ろした満足感と、清々しさで胸が一ぱいでした。これも、偏に、両クラブの皆様の友愛と寛容の精神があればこそ、唯々、感謝する次第です。今後は両クラブが、和気藹々の内、互いに、切磋琢磨し、良きライバルとし、地域社会に大きなかかわりをもつ奉仕の担い手であることを認識し、今こそ、会員の質的向上と拡大のため、確固たる基盤をつくり、我々の人道的奉仕の目標は、まさに、壮大なものでなければならないと思います。



334-A 地区
会員エクステンション委員長
L 深津 六郎



GAMAGORI MARINE LIONS

御 挨 捭

蒲郡マリンライオンズクラブの認証状伝達を、心からお慶び申し上げます。愛知県99番目のクラブとして、蒲郡市に新たなクラブが発足されたことに、大きな期待と心強さを感じます。

私が申し上げるまでもなく、本市は鉄道唱歌に「東海道にてすぐれたる、海の眺めは蒲郡」と歌われています。そして今、「マリンメディアポリス蒲郡」として、大塚地区の「海の軽井沢構想」、竹島から市民会館に至る「ポートルネッサンス21計画」等の大型プロジェクト事業を手がけ、加えて、ヨットのオリンピックとも言われるアメリカズカップの挑戦基地が存在するなど、本市は大変海に関わり合いの深いまちです。

平成という新しい年、蒲郡市制35周年の記念すべき年に、「蒲郡マリンライオンズクラブ」が発足いたしましたことは、まことに当を得たものであると思います。

ここに謹んで認証状受領のお祝い申し上げますとともに、今後一層のご活躍を祈念し、本市の社会・経済・文化の発展伸張にご貢献下さいますようお願い申し上げます。

おわりに、貴クラブのご繁栄と会員各位のご健勝とご多幸をお祈りいたしまして、私のお祝いの言葉といたします。



蒲郡市長

大場 進

